平成 23 年度

＜その他取組に特徴のある事例＞

# ○学校教育との連携による取組

## １．集落協定の概要

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 市町村･協定名 | 北海道 空知郡 中富良野町（そらちぐん なかふらのちょう） 中富良野町（なかふらのちょう） | | | |
| 協定面積<br>358.7ha | 田（59%）<br>水稲・小麦等 | 畑（39%）<br>小麦・野菜等 | 草地（2%）<br>牧草 | 採草放牧地（ー）<br>ー |
| 交付金額<br>2,878万円 | 個人配分 | | | 50% |
| | 共同取組活動<br>（50%） | 集落の各担当者の活動に対する経費<br>農業生産活動等に対する経費<br>農業生産活動等の体制整備に対する経費<br>その他（事務費等） | | 2%<br>12%<br>34%<br>2% |
| 協定参加者 | 農業者　378人、農業生産法人　4戸、特定農業法人　1戸、<br>非農業者　42人、学校教育等　2校、 | | | 開始：平成12年度 |

## ２．取組に至る経緯

当集落では、高齢化や後継者不足が深刻となってきていることから、担い手の不足により、集落の活力が低下することが懸念されている。

また、近年のエゾシカによる食害被害の増加は、農業生産活動に深刻な影響を与えており、これらを踏まえた上で集落で話し合い、取組を実施することとした。

## ３．取組の内容

### ○学校教育との連携

集落の次世代を担う子供達に、小学校の授業の中で農業について学ぶことを通じ、理解し興味を持ってもらい、後継者や担い手の育成につなげることができるよう体験学習を実施。

### ○有害鳥獣防止対策

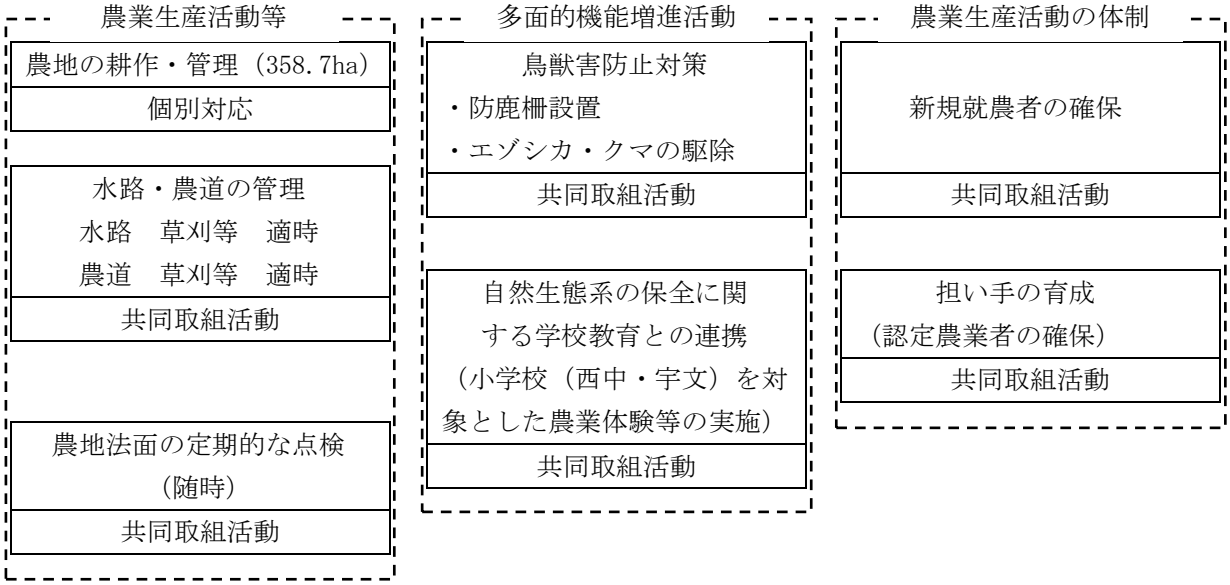
防鹿柵（金属ネットフェンス等）の設置による有害鳥獣被害の防止や、クマ・エゾシカの駆除を実施。

【学校教育との連携（田植え）】

【学校教育との連携（稲の観察）】

［集落の将来像］
○　集落の協定内容を生かしたビジョンを作成し、担い手の育成や共同取組活動を強化して、次世代に続く活力のある地域農業づくりに取り組む。

［将来像を実現するための活動目標］
○　農業生産活動と農地の多面的機能の維持を図るため、担い手（認定農業者・新規就農者）の育成と確保を図る。




## ４．今後の課題等

農業生産活動や自然生態系保全に関する学校教育との連携等を、集落の共同取組活動としたことにより、集落のまとまりがよくなってきている。

また、非農家の参加によるつながりも生まれ、集落一体となった活動が行われ活性化が図られている。

今後は、集落の高齢化が進行する中で担い手育成を推進し、農業生産活動の重要性を次世代に積極的に啓発し、理解を深めていくことが必要である。

［第２期対策の主な成果］
○ 認定農業者の育成（認定農業者数　当初 262名、実績 275名）
○ 担い手への農地の集積（集積率　当初 59.9%、実績 85.8%）
○ 機械・農作業の共同化により生産性・収益の向上が図られた